

# がまこり 議会 だより

## 3月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 7
議決された主な議案……………	8～ 11
平成 28 年度一般会計予算 274 億 8,100 万円	
議会日誌、5 月臨時会・6 月定例会予定 ……	12

NO. 90  
2016.5





# 一般質問…ここが論点

3月市議会定例会中、2月29日、3月2日、3日の3日間で、2人の議員が会派を代表して質問し、10人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページ (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>) の会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、ユーストリームライブ中継と録画放映も実施していますので蒲郡市議会のホームページからご覧ください。

## ■ 各会派代表質問

日程	会派名及び議員名	主な質問の項目
2月29日(月)	蒲郡自由クラブ 代表 鎌田篤司	予算大綱について <a href="#">堅実な行財政運営</a> <a href="#">産業の振興・働く場の確保</a> <a href="#">安全で住みやすい、魅力ある町づくり</a> 財源確保 <a href="#">モーターボート</a>
	公明党蒲郡市議団 代表 松本昌成	平成28年度主要施策について <a href="#">堅実な行財政運営</a> 公共施設マネジメント 新市民体育館 総合戦略 東三河広域連合 <a href="#">農業振興</a> <a href="#">観光振興</a> <a href="#">防災・減災</a> <a href="#">下水道事業</a> <a href="#">子育て世代の支援</a> 市民の健康づくり <a href="#">教育環境の充実</a> 高齢化社会に対応した施策

## ■ 個人質問

日程	議員名	主な質問の項目
2月29日(月)	尾崎広道	<a href="#">病児・病後児保育</a> <a href="#">10年後の蒲郡</a>
	大場康議	<a href="#">企業用地確保と企業誘致</a> 都市計画道路五井線と蒲郡環状線
3月2日(水)	青山義明	<a href="#">防犯カメラ</a> <a href="#">インフルエンザ予防接種</a> <a href="#">学校運営費</a> 人間ドック 高齢者世帯
	伴捷文	西浦海岸の諸問題 <a href="#">国道473号</a>
	竹内滋泰	市長2期目のマニフェスト <a href="#">高齢化社会の中での協働のまちづくり</a> <a href="#">介護保険法改正</a>
	来本健作	ラグーナテンボス 海陽町地内の未利用地 新海陽多目的広場 豊岡大塚線、大塚金野線 <a href="#">ヘリポート</a> <a href="#">ネーミングライツ</a>
3月3日(木)	柴田安彦	<a href="#">企業用地確保</a> 市民病院 土地区画整理事業
	大向正義	平成28年度税制改正 <a href="#">高齢者支援</a> <a href="#">子育て支援</a> 医師会との和解
	鈴木貴晶	<a href="#">海づくりは山づくり</a> <a href="#">ラジオ体操で健康づくり</a>
	日恵野佳代	<a href="#">市独自の奨学金制度</a> <a href="#">竹島周辺の活性化</a> 市民の足確保

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。



蒲郡自由クラブ  
代表 鎌田篤司

### 市債残高抑制の考え方は

**問** 市長の2期目のマニフエストにおける市債残高削減について伺う。

**答** 市債残高削減は、2期目も積極的に取り組むが、公共施設の整備、インフラの改修や更新に多額の費用が必要と予測される。具体的な数値目標は定めていないが、現状の市債残高を増やさないという目標ラ

インを設定し、市債残高の一層の削減に取り組みたいと思っている。

### 新体育館の建設について

**問** 公共施設改修のひとつに新体育館の建設があるが、どのように考えているのか。

**答** 現在の位置も候補地として検討したが、取り壊しから競技場の完成まで3年ほどかかり、その間は利用できない。代替となる文化広場では、各競技団体の予定が組み込まれており、小中学校の体育館では駐車場、観戦場所の確保の問題や学校開放、部活動の利用等があり各種大会での使用は無理がある。そこで、建設用地として駅から近く、駐車場が十分確保できる競艇場の南東駐車場が最適地であると考えているが、検討会議の意見を聞いて候補地を決定したい。

### 再生医療への取り組みについて

**問** 蒲郡市民病院では、特定認定再生医療等委員会が国から認定を受けた。

### この委員会の内容や実績は

**答** 当院では、平成27年7月に委員会が認定された。委員会では、各医療機関から提出された再生医療等提供計画に基づき、再生医療を実施しようとする医療機関について、各専門家の意見を踏まえ安全性の確保などを審査している。今までに、委員会は2回実施し、1回目は1医療機関から新規5件、2回目は3医療機関から新規3件、変更



特定認定再生医療等委員会を設ける蒲郡市民病院

1件を審査した。当院での再生医療の実施に当たっては、今後も引き続き大学側と話し合いを続け、実施に向けて努力していく。

### 幹線道路の整備と港の振興について

**問** 国道23号蒲郡バイパスをはじめとする市内幹線道路の今後について、どう考えているのか。

**答** 国道23号蒲郡バイパスは、27年度補正予算が8億円付き、豊川市側も工事が発注され順調に進んでいる。国道247号中央バイパスは、残すところ1.6kmが未供用区間。県に対して強く要望していく。大塚金野線は、インターチェンジから蒲郡に入る重要なアクセス道路であり、県に整備促進をお願いしている。名浜道路は、蒲郡港の機能を活用していくため、中部国際空港や新東名高速道路などのアクセス向上に必要で、南海トラフ巨大地震等が発生した際の緊急輸送道路、避難路であると考えている。



豊川為当ICまでの開通が待たれる国道23号蒲郡バイパス

**問** 蒲郡港は、市の財産であり、きちんと考えていく必要があると思うが、今後の展開を伺う。

**答** 蒲郡港の整備は、マイナス11m岸壁の供用開始により、自動車の輸出は前年比5割増を達成する勢いである。まずは、1バースの完全供用を目指して、県に残り4haの早期埋め立てを要望していくとともに、全体3バースの整備を国や県に要望していく。また、バルク等新規貨物の創出やクルーズ船の寄港等積極的にポートセールスに取り組

んでいく。メタンハイドレート掘削調査の再開は、再度蒲郡港を利活用してもらえるよう経済産業省をはじめ関連事業者に要望していく。

### ワンコインお助けサービスについて

**問** 28年度新規事業のワンコインお助けサービス事業の概要を伺う。

**答** 電球の交換、買い物やごみ捨てなど、おおむね30分以内で行うことができる高齢者世帯での困りごとを500円で依頼できる事業である。利用の対象は、高齢者のみの世帯に限定し、



シルバー人材センターに委託する予定だが、東西に広がる市域をカバーするため各地区の近隣のセンター会員で依頼に対応していく。

### 生命の海科学館の現状は

**問** 生命の海科学館条例が制定され、教育施設となった科学館の現状について伺う。

**答** 21年度の利用者が2万2823人に対して、27年度は1月末現在で7万7414人とすでに3・4倍で、学校関係団体も13団体から137団体と大幅に増加している。また、名古屋市科学館にて開催された「生命大躍進展」に「ハイコウイクチス」の標本を貸し出したり、世界屈指の質量を誇る約5億年前のカンブリア紀の動物化石コレクションは、教科書、図鑑、科学書などに提供し、理科教育や科学の普及に活用されている。今後も、国内外の研究機関や博物館との連携を強め、一層の充実を図っていききたい。



教育施設となった生命の海科学館

### 女性や幼児に配慮した避難所を

**問** 避難所の運営における女性や幼児に配慮する取り組みについて伺う。

**答** 阪神・淡路大震災や東日本大震災等を教訓として、女性の視点を取り入れた蒲郡市避難所運営マニュアルの見直しを行う。避難所運営委員会の設置に当たり、委員の3割以上は女性に参加してもらえようと考えている。また、中学校等の避難所には女性の着替え、授乳スペースのテン

トや生理用品、紙おむつ等の備蓄も開始する。

### モーターボート競走事業の売り上げ向上策は

**問** SGレースの開催や外向発売所の拡張について伺う。

**答** 28年度は24年ぶりにグランドチャンピオン決定戦競走を6月21日から開催する予定で、売上目標を110億円と見込んでおり、今後もグレードレース獲得に向けて活動を続ける。また、外向発売所は最大6場発売に対応するためシステムの更新を行うとともに、ファンエリアを現在の1・



SGレースを開催するボートレース蒲郡

5倍にして、30年度にリニューアルオープンを予定している。

### その他の質問

「公共施設の改修」「観光産業の振興」「保育園の育休退園・一歳児教室発達相談」「高齢化社会に対応・在宅サービス等」「教育環境の充実」「防犯カメラ」「セーリング世界大会」「基金運用」

公明党蒲郡市議団  
代表 松本昌成

### 財源の確保について

**問** 平成28年度予算確保はどう考えているのか。

**答** 28年度から滞納整理事務を東三河広域連合で行う。また、引き続き広告料収入やインターネットオークション等による売り払いでの収入を確保し、ふるさと納税については、クレジットカードによる納付を可能にする。

### TPPの影響について

**問** 蒲郡市の農業への影響について伺う。

**答** 主力農産品のみかんと関連するオレンジの関税が段階的に撤廃されるなど、直接的な影響が懸念される。補助支援メニューに迅速に対応できるように、今後もJA蒲郡市と協議、連携していく。

### 観光産業の振興について

**問** 現状と今後の取り組みについて伺う。

**答** 27年度は地方創生交付金を活用し、国内外観光プロモーション事業とし、



蒲郡市の観光のシンボル 竹島

多言語パンフレットの作成、ホームページの多言語化等を実施した。今後のさらなる観光客誘致に邁進していきたい。

### 防災・減災対策について

**問** 国土強靱化計画にどう取り組むのか。

**答** 現在具体的な取り組みは行っていないが、国の策定ガイドラインを参考に検討していく必要があると考える。

### 全県域汚水適正処理構想について

**問** 浄化槽転換補助は一度廃止した制度であるがどう取り組むのか。

**答** アクシオンプラン策定に合わせて、37年度までと限定して29年度に補助制度を整備する。

### 子ども・子育て支援新制度における取り組みについて

**問** 主要施策はどのようなものか伺う。

**答** 新規事業としては、子育てコンシェルジュ事業、病児保育事業の開始が挙げられる。現在3園で実施している一時預かり事業を7園に拡大し、既存事業であるファミリー・サポート・センター事業を一層推進していく。

### 学校施設改修について

**問** 今後の改修計画の考え方について伺う。

**答** 校舎は老朽化対策として長寿命化を中心とした棟単位の改修を行っていく。その他体育館、プールやトイレの改修など計画的



市内中学校の授業風景

に実施していく。

### 尾崎広道（自由クラブ）

### 病児・病後児保育について

**問** それぞれの概要と周知方法について伺う。

**答** 病児保育は病気中の児童を、病後児保育は病気が回復時の児童を預かるもので、ともに形原町のおひさまキッズで実施する。周知については、子育て支援ガイドブック「にこにこ」、子育て支援マップ等に掲載するとともに、1枚の紙で担当課等がすぐにわかるようなものを一度検討したい。

### 10年後の蒲郡について

**問** 第一次産業の担い手が減少しているが、今後の利用計画について伺う。

**答** 農業振興地域整備計画は、次回見直しに向けてどのような変更ができるか検討し、漁港漁場整備長期計画は、次期策定時に本市の意見を県に申し入れたい。



### 大場康議（自由クラブ）

### 柏原地区企業用地について

**問** 市の考えるスケジュールで工期が遅れずに土地を引き渡すことができるのか。

**答** 市では、平成29年度半ばから工事着手、32年度末に事業者への土地の引き渡しを予定しているが、今後は、地権者と交渉をスムーズに行い早めに工事着手したいと考えている。

**問** 今後ほかの企業用地確保は考えているか。

**答** 近隣市町村においては、工業団地造成計画を打

ち出している。本市も早急に柏原地区以外において企業用地を確保する必要があると考えるが、まずは柏原地区の用地買収、補償物件にめどをつけ、その後、検討委員会で示された候補地を基本に検討を進め、なるべく早い時期に企業に向けて次の候補地を示すことができればと考える。

**青山義明（自由クラブ）**

**防犯カメラ設置について**

**問** 今後の市の方針について伺う。

**答** 名鉄形原駅、西浦駅の駐輪場や他の公共施設



蒲郡駅東の防犯カメラ

等への設置を行う。また、設置費補助制度を継続し、台数を増やしていきたい。

**インフルエンザ予防接種の補助について**

**問** 子どもの接種に対する補助への考えは。

**答** 効果等を見きわめながら研究課題としていく。

**学校運営費について**

**問** 備品購入についての対応は。

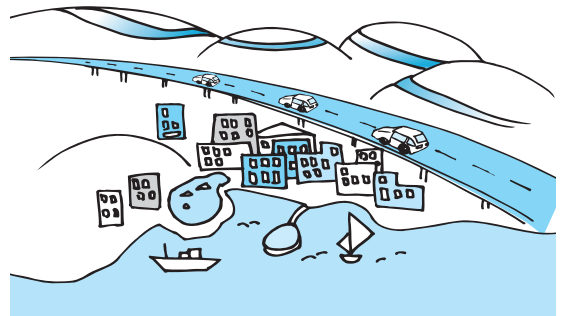
**答** 高額な備品購入の場合は、庶務課で予算措置をするか、または学校に配当する予算に一部上乗せをして対応している。

**伴 捷文（自由クラブ）**

**国道473号の整備促進を**

**問** 新東名高速道路の浜松いなさJCTから豊田

東JCTまでが開通し、蒲郡市と岡崎市を結ぶ国道473号の整備が重要になる



が、現在の状況は。

**答** 岡崎市側は新東名高速道路岡崎東IC付近の整備が終わり、残る蒲郡市側の整備が期待されている。

**問** 今後の整備の進め方

**答** 平成27年度は、市長が東・西三河の建設事務所長に直接要望を行った。

今後引き続き、国道473号整備促進協議会を軸として、岡崎市、豊田市と連携し、県に働きかけをしていきたいと考えている。また、蒲郡市と岡崎市の2市だけで国道1号から蒲郡市までの区間を取り出して、

別の整備促進を進められるような働きかけを広げたいと考えている。

**竹内滋泰（自由クラブ）**

**高齢化社会の中での協働のまちづくりは**

**問** 今後、市が目指す協働のまちづくりとは。

**答** 少子高齢化等で地域の課題が複雑、多様になる中、平成28年度から新設の協働まちづくり課が、市民活動団体等と協力して課題解決を図る役割を担う。

国籍や性別、年齢の違い、障害の有無などに関わらず、地域の多様な主体との協働で、安全で住みやすい、魅力ある町づくりを目指す。

**介護保険法改正について**

**問** 法改正の概要について伺う。

**答** 改正は多岐に渡るが、介護予防訪問介護及び通所介護が、市区町村が行う介護予防・日常生活支援総合事業へ移行することが、

高齢者が最も関心を寄せる事柄だと考えている。

**来本健作（無党派）**

**ヘリポート設置の必要性について**

**問** 海陽町に災害時、緊急時用ではなく、許可があれば常時利用できるヘリポートを設置することについて見解を伺う。

**答** 今後ラグーナ蒲郡地区の開発が進み、利用者のニーズが生じた段階で検討することだと考えている。

**ネーミングライツ導入の可能性は**



**問** 海陽町及びその周辺にはネーミングライツを導入できる施設が多いのではないかと思うが、新たに導入する可能性は。

**答** 海陽町地内だけでなく、既存の施設においても導入が可能か研究していくが、その前提としてスポンサーに応募してもらえらる施設、市民の皆様により一層親しまれる施設としていくことが重要だと考えている。

**柴田安彦（無会派）**

**企業用地の確保は**

**問** 柏原地区の分譲単価は、東三河内陸部の県企業庁分譲地の2倍だが、この価格で売れるのか。また、市街化調整区域の農業振興地域であり、工業用地としての環境が整っていない。リスクが高く、開発を見送るべきではないか。

**答** 現地は蒲郡西IC付近で交通の便がよく現時点でも企業から高い評価を得ている。経済の活性化、雇用の場所の確保等のため、

事業に着手すべきだと判断している。

**問** 浜町の下水処理場は未利用地が多い。環境もふさわしく、造成もいらないので、企業用地に転用してはどうか。

**答** 補助金適正化法等の問題があり難しいが、平成28年度の下水道基本計画見直しの中で今後の下水道事業に必要な見きわめたい。

**大向正義（無会派）**

**送迎バスを有効利用し、寿楽荘の利用者増加を**

**問** 寿楽荘は60歳以上の高齢者が誰でも利用できる施設だが、大塚町の山の



寿楽荘

上に立地していて、利用しづらい。乗用車で来ることができない方のために、寿楽荘とJR大塚駅間のバスの送迎利用はできないか。

**答** 経費や条件等も含め指定管理者である社会福祉協議会と相談したい。

**児童クラブと放課後子ども教室の一体運用は**

**問** 東京都内等では児童クラブと放課後子ども教室の一体的な運用が増えていくと聞くが、本市で一体型モデル事業等に取り組む考えはあるのか。

**答** 様々な担当課を交えた庁内検討会議を立ち上げ検討した上で、学校関係者等も加えて検討をしていることになると考えている。

**鈴木貴晶（自由クラブ）**

**海づくりによる山づくりを**

**問** 漁場の新たな整備として、間伐材を縛って海に沈める木材活用礁の取り組みを実施する考えは。

**答** 現状、計画はないが県等と連携し研究したい。

**ラジオ体操の普及促進を**

**問** ラジオ体操は健康づくりや介護予防だけでなく、ラジオ体操を行うことにより新たな仲間が生まれ、交流の輪が広がるといった地域コミュニティの活性化も期待できる。地域でラジオ体操を実施しているグループの周知や情報提供をしていく必要があると考えるが、市の考えを伺う。

**答** 現状、ホームページにラジオ体操の実施場所や日時の掲載はしていないが、他市町を参考に掲載を



ラジオ体操の光景

していきたい。

**日恵野佳代（無会派・日本共産党）**

**独自の奨学金支援制度は**

**問** 子育て世代や若者の経済状況は厳しく奨学金の返済は重い負担である。市の認識と独自の奨学金支援制度を設ける考えは。

**答** 奨学金の問題は新たな社会問題と認識している。国に支援の充実等の要望は行っていくが、市独自の対応は考えていない。

**竹島周辺の活性化を**

**問** 竹島地区は観光客が37万人も訪れるが、水族館隣の建物は老朽化が激しい。水族館改修に合わせ対策をとり、観光客が買い物等を楽しめるようにすべきと思うが、市の考えは。

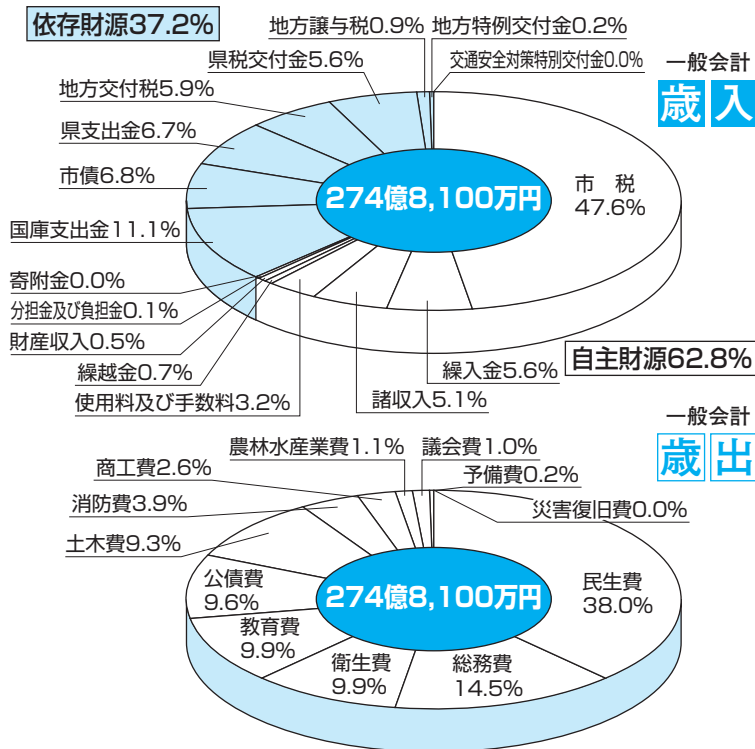
**答** 水族館隣の建物の持ち主には同時期での整備の相談をする。竹島地区の方針は市観光協会や地区の観光協会とも話し合いたい。

# 平成28年度一般会計予算 などを議決

3月定例会  
議案

3月市議会定例会は、2月24日から3月22日までの28日間の会期で開き、議案38件を審議しました。

平成28年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



## 平成28年度予算

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	274億8,100	1.0%増
特別会計	国民健康保険事業	95億4,050 1.2%減
	介護保険事業	62億150 5.3%増
	後期高齢者医療事業	18億8,580 10.8%増
	土地区画整理事業	17億4,400 10.1%増
	企業用地造成事業	7億2,270 皆増
	公共用地対策事業	1億2,190 11.3%増
	下水道事業	24億4,650 3.0%減
	三谷町財産区	4,020 19.6%増
	西浦町財産区	1,310 6.4%減
	小計	227億1,620 5.6%増
企業会計	水道事業	収益的 16億8,840 1.5%減 資本的 11億2,430 0.6%減
	病院事業	収益的 79億1,990 0.0%減 資本的 8億3,070 4.0%減
	モーターボート競走事業	収益的 838億4,090 0.8%減 資本的 8億1,740 52.5%減
	小計	962億2,160 1.7%減
	合計	1,464億1,880 0.1%減

### 予算審査 特別委員会から

平成28年度一般会計予算など13会計予算は、18人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長 稲吉郭哲、副委員長 鈴木基夫）を設置し、審査されました。審査は、3月10日、11日、14日、15日の4日間にわたり、慎重に行われました。

○ 一般会計予算

### ● 歳出 ● 総務費

### ● 総務費

問 選挙権年齢が満20歳から満18歳に引き下げられる

が、投票率向上のための啓発活動はどう進めるのか。

答 27年度は数年後に有権者となる小学生を対象として「選挙って何？」というテーマで出前トークを開催した。28年度も小学校での実施は継続し、新たに中学校でも選挙制度の解説や模擬投票等の出前講座を計画している。また、18歳から20歳代前半の市職員の特別研修を手始めに、大学や若者が多く働く市内の事業所へ順次出張して啓発活動を実施していきたい。

● 民生費

ワンコインお助けサービス

問 高齢者のみで構成される世帯が電球の交換、買い物、ゴミ捨て等の困った時にお願するサービスということがあるが、迅速な対応を求められると感じている。委託先のシルバー人材センターへの依頼方法や、その後の対応はどう想定しているのか。

答 依頼はシルバー人材センターに直接していただき、シルバー人材センターの対応としては、会員に地域リ



■ 3月定例会の日程

《2月》

24日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、  
予算大綱説明、議案説明など〕  
予算審査特別委員会

29日 本会議〔一般質問〕

《3月》

2日 本会議〔一般質問〕

3日 本会議〔一般質問〕

4日 総務委員会

7日 経済委員会

8日 文教委員会

10日 予算審査特別委員会

11日 予算審査特別委員会

14日 予算審査特別委員会

15日 予算審査特別委員会

22日 本会議〔委員長報告、議案説明、質疑、  
討論、採決など〕

「ダー」という方がいるので、その方を中心に依頼先までの距離等を勘案し、スピーディーな対応がとれるように検討している。

● 衛生費

胃がんリスク検査

問 個別がん検診事業の中で新たに実施する胃がんリスク検査の内容を伺う。

答 胃がんの発症にはピロリ菌の感染と胃粘膜の萎縮が大きく関係しているが、40歳以上の5歳刻みの年齢の方を対象として、血液検査でピロリ菌への感染と萎縮性胃炎の有無を検査し、胃がんの危険度を分類する。

この検査により、ピロリ菌の除菌治療や胃の定期的な検査につなげていき、胃がんの発症リスクを低下させる。

● 商工費

外国人誘客事業

問 事業の内容は。

答 国のビジット・ジャパン事業の一つの地方連携事業への100万円の負担金が主なものとなっている。地方連携事業は、蒲郡市、浜松市、郡上市、岡崎市、中部国際空港が連携し、親日国のタイをターゲットとして、メディアの招へい、広域観光情報を掲載したバ

ンフレットの作成、旅行博への出展、ウェブサイトでの情報発信等のPRを通じて、誘客数の増加を図ることを予定している。

● 土木費

海のまちづくり推進事業

問 海フェスタ東三河の概要と蒲郡市独自の関わり方はどうなっているのか。

答 東三河の地域力を高めるとともに、海、川、港についての魅力を次の世代につなげ、多彩で豊かな地域資源として東三河の魅力を全国に発信する。

市は事業費の1・9%にあたる200万円を負担金として拠出し、各市におけるイベントとしては、海フェスタ東三河実行委員会にて検討しており、蒲郡市独自のイベントとして決まっているものはない。

● 消防費

消防団運営事業

問 消防団員確保に向けて28年度はどのような取り組みをするのか。

答 消防団員募集の年齢を20歳以上としているのは現

在県内でも豊橋市、知多市、蒲郡市の3市のみであり、今後年齢を18歳以上に引き下げる必要があると考える。また、機能別団員制度については、東三河では蒲郡市だけが設けていない。ただ、現実として他市の機能別団員がどのように機能するか不明なため、今後の検討課題としたい。

● 教育費

給食施設維持管理事業

問 アレルギー室改修工事の内容について伺う。

答 夏休み期間中の7月30日から8月19日にかけて、ポイラー更新工事にあわせ卵アレルギー調理室の改修工事を行う。

問 専任の調理員を増やすということだが、今までの人員では足りなかったのか。

答 専任の調理員がいらないと、調理過程で食材が交差しアレルギーが発症しかねない。

除去食の調理は専任で行い、通常給食と接触しないように改めて人員を雇うことになる。

○ 水道事業会計

年度末給水栓数は、3万2866栓、1日平均給水量2万6027m<sup>3</sup>を予定しており、収益的収支は2億600万円の黒字予算です。

○ 病院事業会計

1日平均入院患者数を260人、外来は730人と見込み、収益的収支は6億7460万円の赤字予算です。収益的収入と資本的収入で合計12億5千万円をモーターボート競走事業会計から繰り入れます。

○ モーターボート競走事業会計

年間192日の開催を予定しており、収益的収支は12億8840万円の黒字予算です。この会計から土地区画整理事業特別会計に2億8千万円、下水道事業特別会計に6億7千万円、病院事業会計に12億5千万円を支出します。

条例の制定・改正・廃止

● 人事評価制度の導入に関する条例の制定

(第1号議案)

地方公務員法施行により、人事評価制度の導入が義務

付けられたこと等に伴い、従前の勤務評定を能力と業績の両面から評価する人事評価に変更し、職務給原則を徹底するため給料表の分類の基準となる等級別基準職務表を定めます。

**●総務委員会での主な質疑**  
**問** 新たな人事評価制度となることだが従前の制度と、どう違うのか。  
**答** 現在の勤務評定は上司が一方的に部下を評価する制度となっておりますが、今後は自身で自己評価した上で上司が評価し、その評価について両者で話し合うといった制度となっております。

**問** 評価の仕方によって差が発生し、不利益を受ける職員が出ないか。  
**答** 評価は、被評価者、一次評価者、二次評価者、調整者の順で行い、評価の均衡が取れていなかったり、疑義がある場合は、差し戻して、より公平性を保てる制度としています。また、人事課に苦情処理窓口を設け、不利益を受ける職員が出ないように努めます。

**●本会議での主な論点**  
**賛成** 法律の施行に伴う関係

条例の整備を行うもので、能力及び実力に基づく人事管理の徹底等を進めるにありたり適切な対応と考える。  
**反対** 人事評価のために丁寧な対応よりも数をこなすこと等が優先となり、市民サービスの低下につながる。  
**反対** 評価者の違いにより、主観が入り込む余地があり、評価基準の公平性に欠ける結果となる可能性がある。

**●企業用地造成事業 特別会計を設置 (第7号議案)**

柏原地区の企業用地造成における会計の明確化や、地方債の借り入れを円滑に進める等のため、蒲郡市企業用地造成事業特別会計を28年4月1日より、設置します。

**●総務委員会での主な質疑**  
**問** 企業用地造成事業特別会計の事業の範囲は、当面、柏原地区の開発事業を想定しているとのことだが、今後もっと広い範囲での展開が予想されるのか。  
**答** 今回の特別会計の設置においては、柏原地区造成事業を対象としています。

事業を対象としています。

**問** 造成後の企業用地が塩漬けとなる可能性については、どう見込んでいるのか。  
**答** 訪問した企業からは、本市の計画が他市町の計画に比べて早く見込まれることや、蒲郡西ICに近くアクセスに優れていること等から評価をされており、開発の時期を失わないように早期に事業化することが重要だと考えています。

**●本会議での主な論点**

**賛成** 柏原地区造成事業を市の施行で行うにあたり、一般会計と区分して経理する点や、その財源となる市債を発行するためにも特別会計の設置は適正と考える。  
**反対** 市民サービスの税金を徴すべきであり、企業支援につき込むべきではない。  
**反対** 企業用地の分譲価格が東三河他市の2倍であり、該当地区は農業振興地域でもある。市が主体の開発はリスクが高く見送るべき。

**●斎場の設置及び管理に関する条例の廃止 (第12号議案)**

蒲郡市幸田町衛生組合が新斎場を建設することに伴

い、昭和54年から37年間使用している蒲郡市斎場を廃止します。

なお、新斎場の名称は公募により「セレモニートールとほね」に決定し、平成28年7月中旬に開設を予定しています。利用料金は、蒲郡市、幸田町の方は現在と余り変わらないようにし、2市町以外の方は実費料金程度に設定します。また、動物火葬料金を明確な重量制に変更し、最近のペットブームに合わせ個別火葬もできるようにします。

**○経済委員会での主な質疑**

**問** 今後の霊柩車の運行についての考え方は。  
**答** 現在のマイクロバス型霊柩車の更新の時期が来ましたら、運行の継続について検討したいと考えています。

**問** 新斎場の火葬炉の数は。  
**答** 人体用5基、動物用1基の合計6基の炉を有し、将来的に人体の火葬の増加が見込まれるため、人体用の炉を1基追加できるスペースを設けています。

その他の議案

**●市議会会議規則の一部改正 (議員提出第2号議案)**

会議における反問の実施に伴い、所要の改正を行います。反問とは本会議や委員会における議員の一般質問や質疑に対し、議員の考案、内容、趣旨の確認や論点、争点を整理して明確化するため、答弁者が議員に質問することです。反問の実施により活発な議論を行い、傍聴者にも分かりやすい議会になることを期待するものです。

**●本会議での主な論点**

**賛成** 反問権を認め、お互いの考えがぶつかり合う議会にすることで、傍聴者や市民により分かりやすい議論ができる。

**賛成** 議員も根拠調べ等を充実させ、常に緊張感を持つて質問をする必要があり、より精度の高い議論が行われると考える。

**反対** 市長と違って代わりに答弁する者のいない議員への質問は対等でない。規則の改正は全会一致とすべきで議会制民主主義に反する。

■ 全会一致で可決・同意した議案 (○内の数字は議案番号)

- ② 職員定数条例及び出頭人の実費弁償に関する条例の一部改正 ③ 職員の退職管理に関する条例の制定
  - ④ 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
  - ⑤ 職員の給与に関する条例等の一部改正 ⑥ 部等設置条例及び青少年センター設置条例の一部改正
  - ⑧ 行政不服審査条例の制定 ⑨ 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
  - ⑩ 市税条例及び国民健康保険税条例の一部改正 ⑪ 火災予防条例の一部改正
  - ⑫ 斎場の設置及び管理に関する条例の廃止 ⑬ 道路占用料条例の一部改正
  - ⑭ 公共用物の管理に関する条例等の一部改正
  - ⑮ 指定地域密着型サービス事業者の指定の条件並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定の条件並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
  - ⑯ 遺児手当支給条例及び母子家庭等医療費助成条例の一部改正
  - ⑰ 少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部改正
  - ⑱ 固定資産評価審査委員会委員の選任 ⑲ 人権擁護委員の候補者の推薦
  - ⑳ 平成28年度土地地区画整理事業特別会計予算 ㉑ 平成28年度公共用地対策事業特別会計予算
  - ㉒ 平成28年度三谷町財産区特別会計予算 ㉓ 平成28年度西浦町財産区特別会計予算
  - ㉔ 平成28年度病院事業会計予算 ㉕ 平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
  - ㉖ 平成27年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
  - ㉗ 平成27年度土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 議員提出① 市議会委員会条例の一部改正

■ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	蒲郡自由クラブ													公明党 蒲郡市議団		無会派					
		大場 康議	伴 捷文	尾崎 広道	鈴木 基夫	広中 昇平	喚田 孝博	鎌田 篤司	竹内 滋泰	稲吉 郭哲	新実 祥悟	青山 義明	牧野 泰広	鈴木 貴晶	伊藤 勝美	松本 昌成	大竹 利信	日恵野 佳代	来本 健作	大向 正義	柴田 安彦	
1	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	特別会計設置に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成28年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成28年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成28年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成28年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成28年度企業用地造成事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成28年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	平成28年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	平成28年度モーターボート競走事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	平成27年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 ②	市議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※新実祥悟議員は議長職により特別多数議決を行った第12号議案以外の採決には参加していません。

### 東三河広域連合議会

2月9日、10日に東三河広域連合議会2月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、平成28年度一般会計予算や条例案など計10議案を可決しました。また、6人の議員が一般質問を行い、蒲郡市選出の鈴木貴晶議員が「成長する広域連合」について質問をしました。

東三河広域連合ホームページ (<http://www.east-nokawado.jp/>)では、広域連合議会インターネット録画中継を実施しておりますので、ぜひご覧ください。



東三河広域連合議会議場の様子

### 愛知県市議会議長会会長から感謝状を受けました

鎌田篤司議員が愛知県市議会議長会会長から、市政発展に尽力し、議長を務めた功績により感謝状を受けられました。

### 5月臨時会・6月定例会予定

5月市議会臨時会は、5月12日(木)に開会する予定です。

臨時会では、議案の審査のほか任期満了となる各常任委員と議会運営委員の選任等が行われます。

詳しい日程は、5月9日(月)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、市役所1階ロビーでもお知らせします。

6月市議会定例会は、6月10日(金)に開会する予定です。

## 議会日誌

1月6日から4月4日

### 1月

- 14日 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会
- 18日 経済委員会行政視察

### 2月

- 2日 中央小学校議場見学
- 3日～4日 経済委員会行政視察
- 10日 議会運営委員会理事会
- 12日 経済委員会
- 15日 3月定例会招集告示  
議案説明会  
当初予算説明会
- 18日 議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会理事会
- 24日～3月22日 3月定例会

### 3月

- 16日 議会運営委員会理事会  
議会運営委員会
- 22日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会

### 4月

- 4日 議会だより編集委員会



平成27年度最後の定例市議会は、2月15日に告示され、議案審査及び2会派の代表質問、10名の個人質問、そして18名の議員で構成される予算審査特別委員会で平成28年度予算案の審査が行われました。

議員提出第2号議案 蒲郡市議会会議規則の一部改正については、会議における反問の実施に伴い、所要の改正を行うために提案をし、可決いたしました。反問については、質問者と答弁者のお互いが質問の内容を整理し、わかりやすい議会にするために導入するもので、議員も常に緊張感を持って質問する必要があります。精度の高い議論が行われると思います。

今後とも市民の幸福と市政発展のために、取り組んでまいります。

### 議会だよりは点字版、テープ版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版、CD版はボランティア

本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載しますので、そちらにアクセスしていただき、新着情報欄をご確認ください。本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所7階の議会事務局で先着順に傍聴証をお渡しします。

### 議会だよりをスマホへ配信します！

QRコードを読み込むか「i 広報誌」で検索



無料です！

グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。また、議会だよりは、過去に発行されたものも含め市議会ホームページからもご覧いただけます。